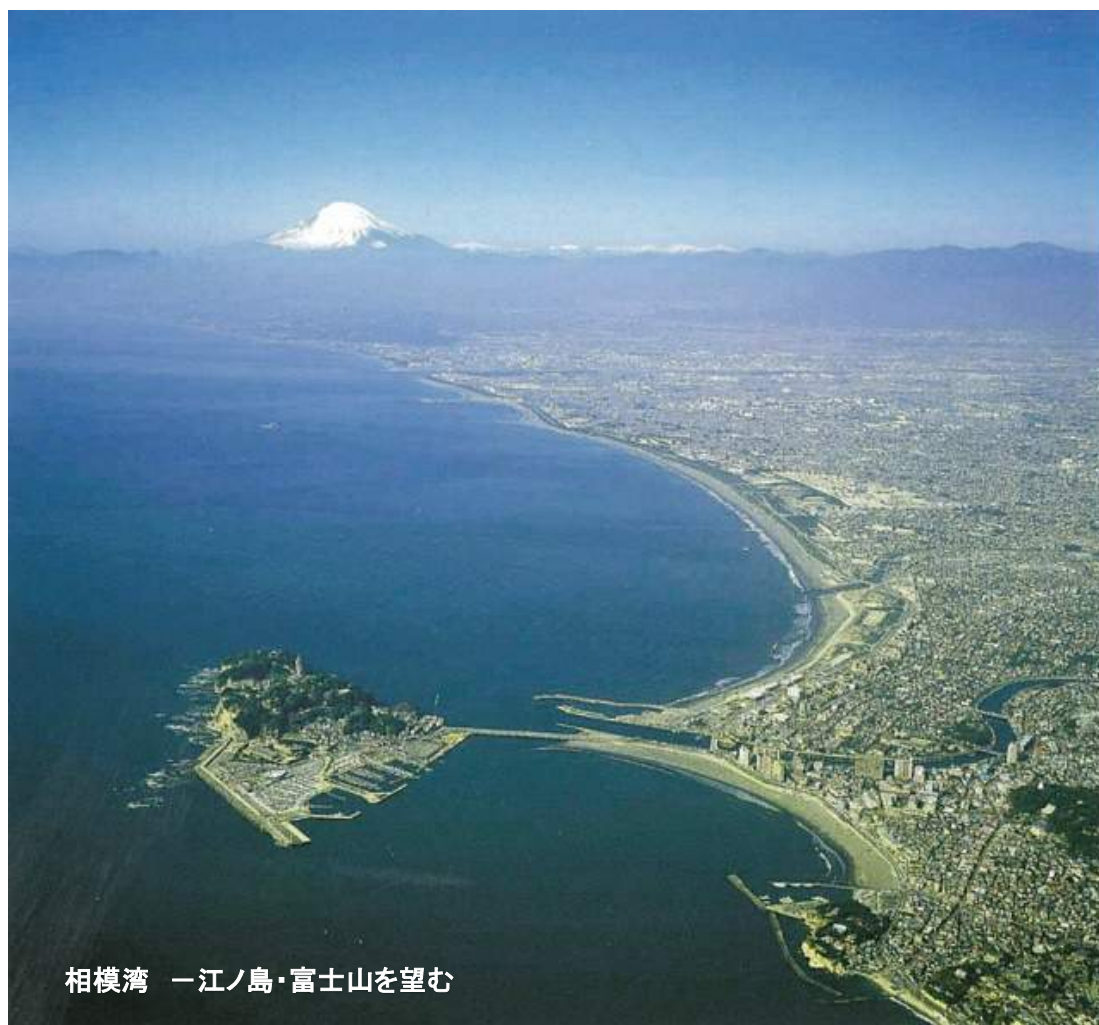




庭園間交流連携促進計画

湘南邸園文化ツーリズム



相模湾 一江ノ島・富士山を望む

2019（令和元）年8月
湘南邸園文化祭連絡協議会

取組の将来像（ビジョン）

相模湾沿岸一帯は、明治期から別荘・保有地を形成して、首都圏で活躍する政財界人・文化人らが滞在・交流する地域として発展してきました。その邸宅・庭園などは当時の風光明媚な景観を生かした庭園と建築技術の粋を集めた建物が融合した価値の高いもので、その緑豊かで閑静な住宅地の街並みや歴史的建造物の佇まいは『湘南の邸園文化』として今も息づいています。



※邸園＝「邸」宅＋庭「園」の造語です。



相模湾沿岸地域の邸園等

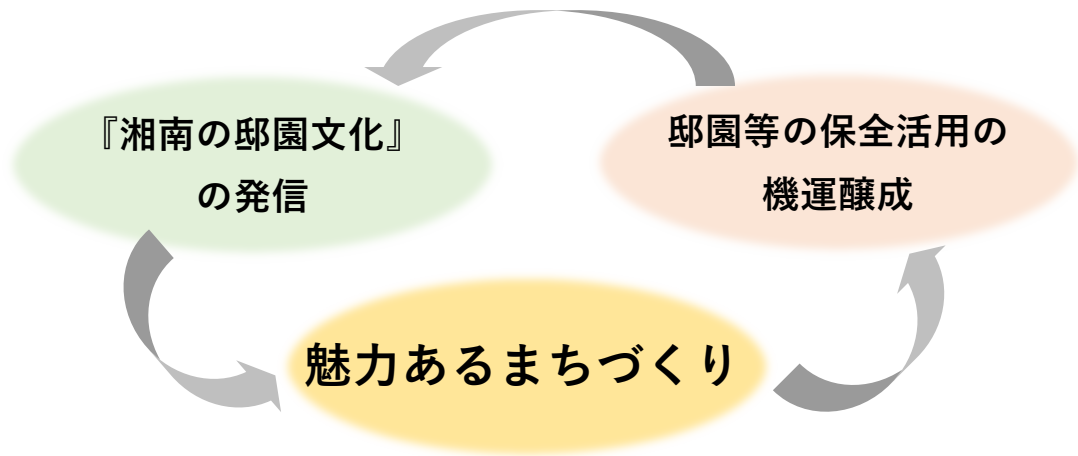
しかしながら、近年において、地域の歴史・文化を育み、人々の心に残る景観を形成してきた邸宅・庭園や歴史的建造物（以下「邸園等」）が、所有者の維持管理の負担が大きいことなどを理由に失われているのが現状です。一方では、邸園等の保全活用を目的にまちづくりに取り組むNPO等の市民団体が各地域では活発に活動しています。

神奈川県においても、公民連携による『湘南の邸園文化』の発信や、地域住民と来訪者による多彩な交流の場として邸園等を保全活用し、新しい湘南文化を創造し発信することを目的とする「邸園文化圏再生構想」を進めています。



邸園文化圏を通じた交流イメージ

邸園文化圏再生構想の一環として、『湘南邸園文化祭』を開催し、多様な人々が各地域の邸園等を巡り、歴史・文化に触れていただく取組を推進することによって、邸園等の存在とその歴史的価値を国内外へ広く発信し、その魅力を再認識してもらうことで、邸園等の保全活用に向けたより一層の機運醸成を図ります。さらに、邸園文化を生かした魅力あるまちづくりを推進し、一層の地域活性化を目指します。



持続的に発展するサイクルイメージ



湘南邸園文化祭
ガイドブック

取組全体の範囲がわかる位置図



構成邸園の位置図



『湘南の邸園文化』を発信し、地域の活性化につなげる

『湘南邸園文化祭』を開催し、邸園等の保全活用の機運を醸成する

邸園文化圏再生構想の一環として、邸園等の保全活用を目的に各地域の市民団体による活発に展開される取組みを、湘南地域で横につなげ、連携による相乗効果を図るため、各地で活動するNPO等と県の協働により、「湘南邸園文化祭連絡協議会」を平成18年に組織しました。

当協議会では、毎年秋に『湘南邸園文化祭』を開催しています。「湘南の邸園文化」という一筋の糸で紡ぎ、相模湾沿岸一帯の邸園等を会場として、邸宅・庭園の一般公開や音楽・アート・食などのコラボレーションした文化的催しを同時期に広域的かつ一体的に開催することで、邸園等の存在とその価値を発信し、地域住民や来訪者に広く再認識してもらい、邸園等の保全の機運を高め、さらには邸園等の利活用を担う事業者やアーティストなどとの広域的な連携を目指しています。

「邸園文化圏」の再生は、単にこの地域の歴史遺産の保存や良好な景観形成のまちづくりにとどまらず、地域におけるミュージアム産業の形成、本物志向や知の成長志向に応えるツーリズムの振興、庭園づくりを通じたガーデニングの振興など、幅広い領域に跨るもので、『湘南の邸園文化』に新しいブランド力を形成するものと考えます。

湘南邸園文化ツーリズムにおける「邸園」は、相模湾沿岸地域一帯の、明治期から別荘地・保養地を形成してきた、当時の場所に残る歴史的な邸宅とその庭園と位置づけます。現状の課題として、各地域の連携が薄いことから、「湘南邸園文化ツーリズム」を通じて、横のつながり強化に努めたいと考えます。各邸園を巡り、多彩なコラボレーションにより邸園の奥深い魅力やその場所できか感じられない、歴史・文化に触れ、『湘南の邸園文化』の魅力国内外へ広く発信し、邸園の保全活用に向けた機運を醸成し、地域の活性化につなげます。



清閑亭(黒田長成侯爵別邸、小田原)



茅ヶ崎館(茅ヶ崎)



旧山本条太郎別荘(鎌倉)



旧吉田茂邸(大磯)

構成庭園の一部



これまでの湘南邸園文化祭の様子

相模湾沿岸地域における**邸園文化**の沿革（湘南邸園文化再生構想の背景）

1. 海浜型別荘保養地としての発展

「湘南」が歴史の表舞台に登場するのは、近代以降です。明治初期、湘南に早くから注目したのは、日本に来日した外国人たちでした。

明治9年（1876）に日本政府の招喚で来日した外国人医師ベルツは、湘南の優れた自然環境、景観（日本一美しい土地と述べている）、東京や横浜からの適度な距離、南面する相模湾、温暖な気候、松林などの手つかずの土地が多いなどの理由から、保養地として湘南に注目しました。ベルツは、日本で西洋医学の指導にあたり、保養の重要性を説いており、当時のヨーロッパでは海水浴療法が盛んな時期でした。ベルツらの進言により、明治18年（1885）には松本順医師により大磯に我が国初の海水浴場が開設されたのを契機に、順次海水浴場が鎌倉、葉山にも開設されました。

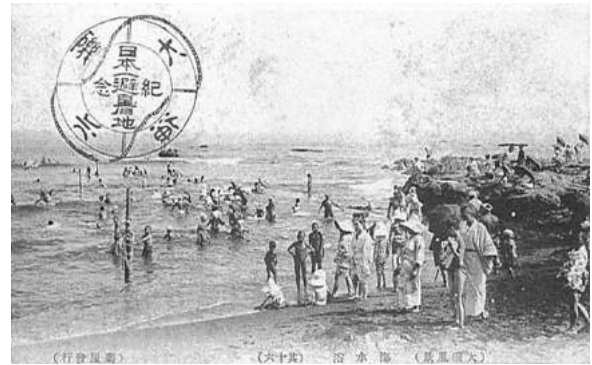
ベルツが来日する前の明治4年（1871）には岩倉使節団が本場イギリス・ブライトン（Brighton）を訪問しています。湘南とブライトンの立地条件は、各々の首都との位置関係と酷似しており、ブライトンが海水浴開設により、イギリス王室の離宮建設とともに政財界人の保養別荘地として発展したことが、湘南形成の一つのモデルになったといえます。岩倉使節団一行の多くは、帰国後湘南の海浜に別荘を構えました。

明治20年（1887）に東海道線横浜国府津間、明治22年（1889）に東海道線大船駅と横須賀を結ぶ横須賀線が開通し、湘南の各地は保養別荘地として格段の発展を遂げました。また、何箇所もの結核療養所が成立し、著名な入院患者の動向や、湘南を訪れる文学者、画家などの作品を通じて、湘南はさらに喧伝されるようになりました。

湘南が保養別荘地として発展し得たのは、

- ① 第一に海浜に面した気候温暖な良好な環境
- ② 第二に東京から半日で到達できる交通の利便性

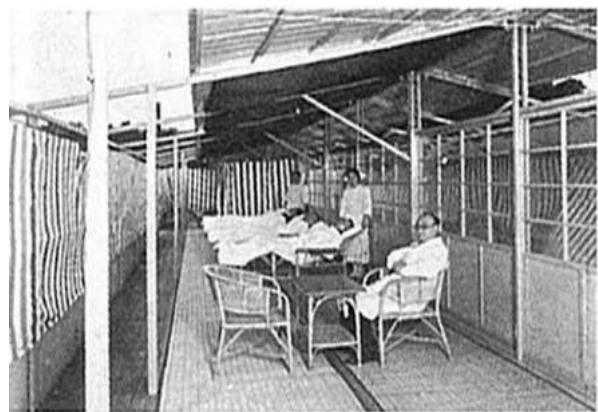
の二つの条件が備わっていたことが挙げられます。



大磯海水浴場(大磯町)



各首都との位置関係（左:日本、右:イギリス）



湘南サナトリウム(逗子市)

2. 首都圏住宅地としての推移

東京の拡大と交通の発達、湘南の地域の性格を徐々に変化させていきました。

大正期に入ると、鎌倉は首都圏のベッドタウンの中に組み込まれ始めます。大正12年（1923）9月の関東大震災とその復興による市街地の拡大と再生は、その動きを更に強めました。

戦争を迎えると、戦争疎開でこれらの地に多くの人々が移動し、その人々の多くは、戦後もそのまま居残り、住み続けました。敗戦とその後の社会変化は、別荘族の中心にあった華族制度の廃止や財閥の解体などにより、湘南一帯の別荘保養地としての性格を大きく変えました。

東京の復興と共に、鉄道や道路の利便性も大きく向上し、相模湾沿岸地域も首都圏への通勤圏となり、ベッドタウンとしての性格が強まり、新しい住民が入ってくるようになりました。宅地開発の波が押し寄せ、美しい街並みをかたちづくる重要な要素である別荘は更新され、次々に失われています。

1-3. 市民活動団体による取組

変わりつつある湘南一帯の別荘保養地に対し、これらの別荘・庭園や歴史的建造物などを地域固有の景観を形成する重要な資源であると位置づけ、積極的に保全活用を図ることを目的とした市民組織が各地域で活発に活動しています。



旧三井守之助別荘(大磯町)
2003年に解体保存され、マンションが建設



市民活動の様子/旧モーガン邸(藤沢市)
ボランティアによる雨漏りの応急修理



市民活動の様子/旧三井別邸(大磯町)
解体保存した部材の養生作業

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	まんだいかいかん 万代会館	構成庭園の 所在地	横須賀市津久井 2-15-33
1 構成庭園 の概要	<div style="display: flex; justify-content: space-between;">   </div> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">庭園からみる万代会館</p> <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○庭園 【開園面積】 4,064.71 m² 【入園料金】 無料 【公開時期】 火曜日、土曜日、日曜日（年末年始除く） 【施設管理者】 横須賀市</p> <p>○邸宅 【建築面積】 217.22 m²</p> </div> <p><歴史> 万代会館は昭和12年（1937）に万代順四郎が、体調のすぐれないトミ夫人の転地療養のため、この地を別荘として買い求めました。順四郎は、戦中は帝国銀行会長や全国銀行協会連合会会長を歴任、戦後は東京通信工業（現ソニー）会長、東邦瓦斯、トヨタ自動車などの相談役や顧問を務め政財界で活躍した人物です。昭和53年（1978）万代トミの生前の意思、遺言により家屋と土地が横須賀市に遺贈され、市が翌年に整備し、現在まで広く利用されています。</p> <p><庭園と邸宅> ゆるやかな砂丘の頂部に建つ万代会館は、トミ夫人の手記によると昭和11年（1936）の購入時、庭に芝生を植え雑木を整理し大小の松を眺望よく配したとあります。かつては、浦賀水道越しに房総半島の山並みを臨むことができました。邸宅は、昭和3年（1928）に建築され、木造茅葺平屋建ての民家風数寄屋造りの住宅で、華美ではありませんが、保養の目的が伝わる建物です。また、4棟の茅葺建物が、雁行配置で連なる特徴があります。</p>		
計画のテーマでの位置づけ	<p>2018年度の「湘南邸園文化祭」では、横須賀北下浦の魅力を知ることのできる青空講座を実施しており、その他に、街歩きコースの立ち寄りや子どものための催しにも利用されています。</p>		




構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	やまぐちほうしゅんきねんかん 山口蓬春記念館	構成庭園の 所在地	葉山町一色 2320
2 構成庭園 の概要	<div style="display: flex; justify-content: space-between;">   </div> <p style="text-align: center;">庭園からみる山口蓬春記念館</p> <p>○庭園 【開園面積】 2,193.1 m² 【入園料金】 600 円 (高校生以下無料) 【公開時期】 月曜日、祝日の翌日を除く毎日 【施設管理者】 民間 (公益財団法人 JR 東海生涯学習財団)</p> <p>○邸宅 【建築面積】 379.92 m²</p> <p>山口蓬春記念館は、日本画家・山口蓬春が、昭和 23 年 (1948) から亡くなる昭和 46 年 (1971) までの約 23 年間に過ぎた邸宅と画室です。平成 2 年 (1990) より、公益財団法人 JR 東海生涯学習財団が土地・建物・美術品の遺贈を受け、平成 3 年 (1991) に開館しました。</p> <p><庭園と邸宅> 庭園は、昭和 35 年 (1960) に岩城造園によって造園され、一時期を葉山で過ごした伊東深水から贈られた豊後梅や、皇居宮殿正殿杉戸絵制作の際に障壁画のモチーフとなった福島県三春町の滝桜(紅枝垂桜)の苗を、橋本明治から貰い受けるなど、画家同士の交流や、蓬春が絵のモチーフとするため植えた植物などがあり、夫人の丹念な手入れにより端整な庭となっていました。 平成 3 年 (1991) に記念館開館にあたり、建築家の大江匡が邸宅の一部改修を行いました。蓬春が夫人とともに暮らした邸宅と日々慈しんできた庭園は、四季を通じて花が絶えない美しい邸園として、来館される方々に親しまれています。 邸宅は、昭和初期の建設とされ、蓬春が邸宅を手に入れた後、建築家の吉田五十八により、昭和 28 年 (1958) の新画室の増築、昭和 32 年 (1957) には母屋の一部増改築が行われました。</p>		
計画のテーマでの位置づけ	<p>「湘南邸園文化祭」では、普段入ることのできないエリアも含め、学芸員による解説付きの邸園ツアーを実施しています。</p>		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	ろかきねんこうえん 蘆花記念公園	構成庭園の 所在地	逗子市桜山 8-2274-1
3 構成庭園 の概要	 <p style="text-align: center;">紅葉の蘆花記念公園(旧徳川家達別邸)</p>		
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="384 835 1118 1064"> <p>○庭園・公園 【開園面積】 約 2.5ha 【入園料金】 無料 【公開時期】 常時 【施設管理者】 逗子市</p> <p>○邸宅 <u>〔旧藤瀬・脇村邸／旧徳川家達別邸（逗子市郷土資料館）〕</u> 【建築面積】 247.53 (㎡) / 266.1 (㎡)</p> </div> <div data-bbox="1118 331 1453 817">  <p>蘆花記念公園 逗子市桜山8丁目2274番1 逗子駅又は東急新逗子駅から 京急バス「富士見橋」下車徒 歩2分</p> </div> </div> <p>蘆花記念公園は、明治の文豪「徳富蘆花」ゆかりの地です。園内にある各邸宅は、いずれも別荘地を象徴する歴史的な建物であり、これらを取り囲む樹林地は自然景観に富み、建築物と一体となって良好な景観を形成しています。公園からは相模湾を眺め、天気の良い日は富士山も見ることができます。</p> <p><園内にある邸宅> ◇旧藤瀬・脇村邸 昭和9年(1934)三井財閥の重役夫人・藤瀬氏によって別荘として建てられ、昭和34年(1959)に経済学者の脇村義太郎氏が購入し居宅としています。建物は、数寄屋造りの和風建築ですが、暖炉やアールデコの様式を配しており、昭和初期に流行した和洋折衷の典型で、近代建築史上も貴重な遺産です。国の登録有形文化財、逗子市の景観重要建造物に指定されています。</p> <p>◇旧徳川家達別邸 大正元年(1912)に横浜の実業家の別邸として建てられたと伝えられ、大正6年(1917)からは、徳川宗家第16代当主の家達の別邸として使われました。建物は、木造平屋建て、寄棟造りの棧瓦葺きで、海側の眺めを重視された間取りであると言われています。現在は、郷土資料館として、逗子にゆかりのある文学、歴史などの資料が多数展示されています。</p>		
計画のテーマでの位置づけ	<p>「湘南邸園文化祭」では、普段入ることのできない建物内部の見学会を実施し、逗子の別荘邸園を散策するツアーなどを実施しています。</p>		

構成庭園一覧表


ふりがな 構成庭園 の名称	きゅうやまもとじょうたろうべっそう 旧山本条太郎別荘	構成庭園の 所在地	鎌倉市長谷 3 丁目	
4 構成庭園 の概要	 <p style="text-align: center;">旧山本条太郎別荘の鳥瞰</p>  <p style="text-align: right;">旧山本条太郎別荘 江ノ電長谷駅より徒歩 5 分</p>			
	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>○庭園 【開園面積】 約 5,000 坪 【入園料金】 ー 【公開時期】 不定期 【施設管理者】 民間（神霊教）</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>○邸宅 【建築面積】 150 坪</p> </td> </tr> </table> <p>旧山本条太郎別荘は、大正 7 年（1918）に満州鉄道総裁山本条太郎の別邸として、建築されました。山本条太郎は三井物産から実業家、立憲政友会代議士、満鉄総裁などを務めた人物で、三井物産の益田孝などと親交もあり、茶道にも熱心でした。昭和 3 年（1956）に九鬼（旧華族）に譲渡され私邸として使用されましたが、その後は宗教法人神霊教が、維持保存しています。</p> <p><庭園と邸宅> 敷地は約 5,000 坪の広大で、その庭園には桃山時代に千利休の弟子によって作られたものをはじめ、数多くの灯籠が点在しています。邸宅は、背後の山々を借景とし、大正 7 年（1918）に 150 坪の京風邸宅が建築されました。また、標高 40 メートルの高台に建ち、母屋からは長谷のまちなみが眺望できます。雁行型に配置された建物は、本格的数寄屋建築で、二席の茶室を持っています。京都から材を取り寄せ、京都の大工により建築されました。また、茶室、家具調度品類も粋を極め、細部まで深い趣があります。現在は、国の登録有形文化財になっています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div data-bbox="387 1344 949 1832" style="width: 60%;">  <p style="text-align: center;">庭園より相模湾を望む</p> </div> <div data-bbox="965 1344 1452 1713" style="width: 35%;"></div> </div>			<p>○庭園 【開園面積】 約 5,000 坪 【入園料金】 ー 【公開時期】 不定期 【施設管理者】 民間（神霊教）</p>
<p>○庭園 【開園面積】 約 5,000 坪 【入園料金】 ー 【公開時期】 不定期 【施設管理者】 民間（神霊教）</p>	<p>○邸宅 【建築面積】 150 坪</p>			
計画のテーマでの位置づけ	<p>大広間を利用して、展覧会や演奏会などのイベントを実施しています。また「湘南邸園文化祭」では 11 月の第 3 土曜日を中心に特別公開を実施しています。</p>			

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	きゅうもーがんでい 旧モーガン邸	構成庭園の 所在地	藤沢市大鋸 1122
5 構成庭園 の概要	<div data-bbox="387 331 1118 880">  <p style="text-align: center;">旧モーガン邸門柱</p> </div> <div data-bbox="1129 331 1453 640">  <p style="text-align: center;">旧モーガン邸 藤沢市大鋸1122 JR藤沢駅北口バスターミナル5番</p> </div> <div data-bbox="387 898 1449 1064" style="background-color: #e0f2f1;"> <p>○庭園 【開園面積】 約 6,600 m² 【入園料金】 無料 【公開時期】 毎月 8 日、第 3 日曜日 【施設管理者】 公益財団法人日本ナショナルトラスト、藤沢市</p> </div> <div data-bbox="387 1093 946 1288"> <p>旧モーガン邸は、建築家 J. H. モーガンが、大正 9 年（1920）の来日後、昭和 6 年（1931）に別荘として建築しました。大鋸の丘の上のこの地を気に入り、昭和 12 年（1937）に亡くなるまで、住宅として住んでいました。</p> </div> <div data-bbox="387 1317 595 1350"> <p><庭園と邸宅></p> </div> <div data-bbox="387 1352 946 1478"> <p>2000坪の敷地では四季折々の草花が楽しめ、モーガンが住んでいた頃の昭和初期の庭園の風情を大切に、NPO 団体がボランティア活動で毎月手入れをしています。</p> </div> <div data-bbox="387 1480 1449 1641"> <p>邸宅は、湘南地域に分布する昭和初期の邸宅として住宅史的にも文化史的にも価値のある建物でしたが、現在は焼失し見学はできませんが、再建に向けた活動が実施されています。現在は、レンガ積みの門柱とアイアンワークの門扉、レバノン杉、現存する旧ガレージ、井戸小屋などが見どころです。</p> </div> <div data-bbox="970 1077 1449 1431">  <p style="text-align: center;">ボランティア活動で手入れされた庭園</p> </div>		
計画のテーマでの 位置づけ	<p>毎月特定日に庭園を公開してガーデンカフェ、庭園コンサートやものづくりワークショップなど様々な催しを開催しています。</p> <div data-bbox="571 1995 938 2029" style="text-align: center;"> <p>庭園でのアートフェスタの様子</p> </div> <div data-bbox="986 1700 1449 2042">  </div>		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	またのべっいていえん 俣野別邸庭園	構成庭園の 所在地	横浜市戸塚区東俣野町 80-1
6 構成庭園 の概要	 <p style="text-align: right;">俣野別邸と前庭</p>		 <p>俣野別邸 横浜市戸塚区東俣野町 80-1 戸塚駅西口・戸塚バスセンター から神奈中バス（戸 81 系統） 「鉄砲宿」下車徒歩 5 分 藤沢駅北口バス乗場から神奈 中バス（戸 81・藤 54 系統）「鉄 砲宿」下車徒歩 5 分</p>
	<p>○庭園 【開園面積】 5.8ha 【入園料金】 無料 【公開時期】 第3木曜日（休日の場合は翌日）（12/29～1/3を除く） 【施設管理者】 横浜市</p> <p>○邸宅 【建築面積】 573.8㎡ 【入館料金】 一般 400円、小学生以下無料、65歳以上・団体（10名以上）350円</p> <p>俣野別邸庭園は、横浜市と藤沢市の市境に位置する風致公園です。園内は、河岸段丘を利用した高低差のある地形が特徴で、外苑と内苑に分かれています。外苑は、住宅地の中にあることを忘れさせる静かな雰囲気にもまれており、四季折々のさまざまな花木や草花を楽しむことができます。内苑は、平成 29 年 4 月に公開され、俣野別邸の主屋を中心とした芝庭が広がっています。</p>		

	<p><邸宅></p> <p>俣野別邸は、日光プリンスホテルや各界の著名人の邸宅などを手掛け、日本の木造住宅の伝統と西洋建築の要素が融合した独自の作風を確立し、住宅建築を中心に多くの作品を残した佐藤秀三の設計・施工により、昭和14年（1939）建築されました。昭和前期のモダニズム影響下におけるハーフティンバー・スタイルを一部に取り入れた和洋折衷住宅です。平成16年（2004）に国の重要文化財に指定されましたが、平成21年（2009）に焼失しました。</p> <p>現在の建物は横浜市が再建し、主な部屋の造りや仕上げが復元されており、横浜市認定歴史的建造物に指定されています。晴天時には、外苑や俣野別邸の展示室から、丹沢山系や富士山を望むことができます。</p> 
<p>計画のテーマでの位置づけ</p>	<p>2018年度の「湘南邸園文化祭」では、俣野別邸庭園もみじ祭りの企画として、紅葉や季節の植物の散策、また邸宅ではハープコンサートを開催し、普段は見ることの出来ない夜間の芝庭を望みながら、ハープの音色を間近で楽しんでいただくなど、別荘地の邸宅と庭園の魅力を体感してもらう企画を実施しています。</p>

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	ちがさきかん 茅ヶ崎館	構成庭園の 所在地	茅ヶ崎市中海岸 3-8-5
7 構成庭園 の概要	 <p style="text-align: right;">茅ヶ崎館と庭園</p> <p>○庭園 【開園面積】 300坪 【入園料金】 施設利用料金に含む 【公開時期】 月曜日、年末年始を除く毎日 【施設管理者】 民間（旅館として運営）</p> <p>○建物 【建築面積】 274㎡</p> <p>海浜旅館や別荘宿といわれる茅ヶ崎館は、明治32年（1899）6月に開業し、初代は日本郵船の御用船機関長をしていた森信次郎です。同年9月、近所に東洋一のサナトリウム南湖院が開院したことにより、海水浴客やお見舞い客をみこし数件の宿泊施設がこの年に開業しています。</p> <p>その中で、茅ヶ崎に唯一現存し、営業しているのは茅ヶ崎館のみです。また、茅ヶ崎館は映画監督の小津安二郎が、映画の脚本執筆のために常駐した旅館としても有名で、今もこの場所で毎年のように映画の脚本が書かれ、またロケーション撮影が行われています。</p> <p><庭園と建物> 敷地は北側に玄関と車寄せ、南に向かってコの字型に建物が中庭を囲んでいます。広間は48畳に縁側で60畳の広さがあり、襖で3部屋に分けることも出来ます。大正12年（1923）9月1日の関東大震災でほとんどの建物が倒壊し、現在の建物は、大正14年（1925）に再建されたものです。広間棟、中二階棟、長屋棟の4棟が、茅ヶ崎市で初めて国登録有形文化財となりました。</p>	 <p>茅ヶ崎館 茅ヶ崎市中海岸3-8-5 JR東海道線茅ヶ崎駅(南口)下車 徒歩20分/タクシー3分 コミュニティバス「えぼし号」 サザン通中央7 下車徒歩3分</p>	 <p style="text-align: right;">茅ヶ崎館の庭園</p> 
計画のテーマでの位置づけ	<p>「湘南邸園文化祭」では、小津安二郎監督の映画との深い関わりから、映画の上映会や、かるた大会などを実施しています。</p>		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	おおいそじょうやまこうえん 大磯城山公園 きゅうよしだしげるてい ちく 旧吉田茂邸地区	構成庭園の 所在地	大磯町国府本郷 506-3
8 構成庭園 の概要	  <p style="text-align: right;">庭園よりみる旧吉田茂邸</p>		
	<p>○庭園 【開園面積】 3.0ha (約9,000坪) 【入園料金】 無料 【公開時期】 年末年始 (12/29~1/3) を除く毎日 【施設管理者】 神奈川県</p> <p>○邸宅 [旧吉田茂邸 (大磯町郷土資料館別館)] 【建築面積】 602.58 m² 【入館料金】 一般 500 円、中・高校生 200 円 【公開時期】 月曜日、毎月 1 日、年末年始 (12/29~1/4) を除く毎日 【施設管理者】 大磯町</p> <p>旧吉田茂邸は、明治 17 年 (1884) に吉田茂の養父吉田健三が別荘として建てたもので、吉田茂が昭和 19 年 (1942) 頃から生涯を閉じる昭和 42 年 (1967) までを過ごしました。吉田茂が政界を引退した後も多くの政治家が当地を訪れ「大磯参り」といわれていました。吉田茂没後も、大平首相とアメリカのカーター大統領との日米首脳会議が行われるなど、現代政治の表舞台としても利用されてきました。</p> <p><庭園と邸宅> 吉田茂邸は、幾度か増改築を重ね、昭和 30 年代には私的な迎賓館として建築家吉田五十八設計により、京都の宮大工の手により近代数奇屋建築の新館が増築されました。現在の建物は、平成 21 年 (2009) の焼失後に復元したものです。 吉田茂がよく散歩していた庭は、世界的作庭家中島健の設計による日本庭園で、本邸周辺については日本庭園研究家久恒秀治により造られました。心字池や築山のある日本庭園、松林、バラ園やサンルームがあり、また、日本庭園にはあまり用いられないカナリーヤシが植えられるなど、海外赴任生活の長かった吉田茂の嗜好の多様性、様式にとらわれない人間性が色濃く反映された庭となっています。</p>		



園内マップ

計画のテーマでの位置づけ

県立公園として庭園を利用したマルシェやコンサート、ガイドツアーなどを実施しています。

構成庭園一覧表

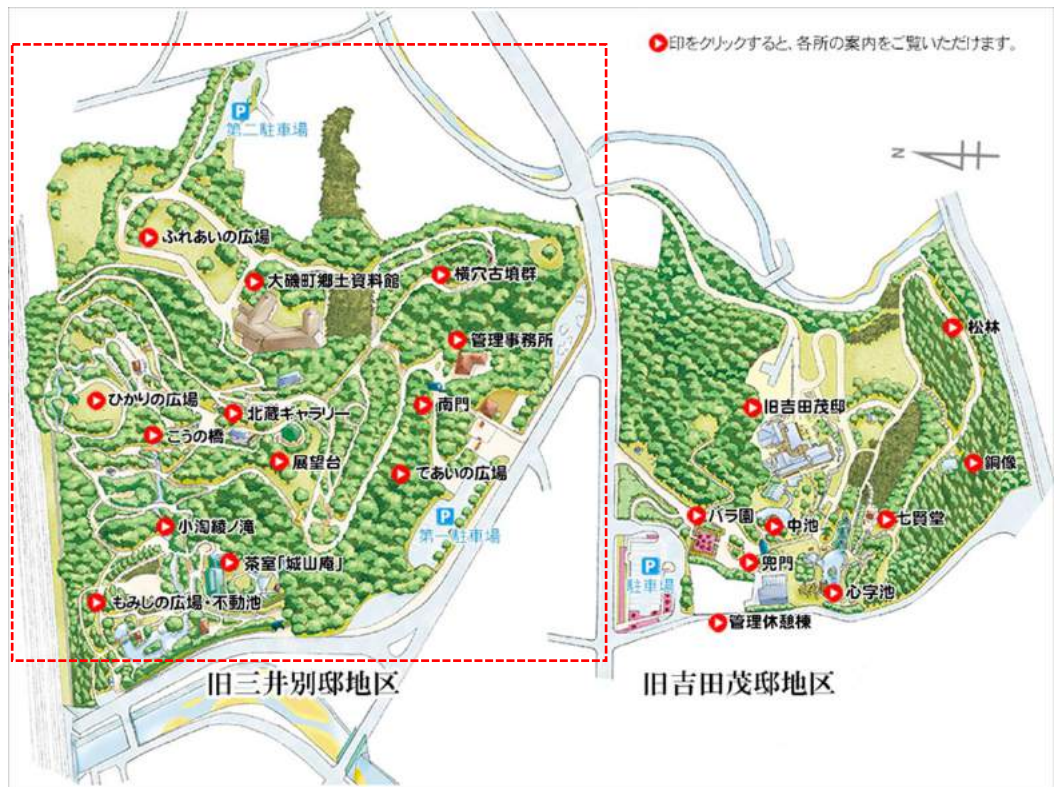
ふりがな 構成庭園 の名称	おおいそじょうやまこうえん 大磯城山公園 きゅうみついでつていちく 旧三井別邸地区	構成庭園の 所在地	大磯町西小磯 551-1
9 構成庭園 の概要	 <p>大磯城山公園のもみじのライトアップ</p>		 <p>大磯城山公園・ 旧三井別邸地区 大磯町国府本郷551-1 JR大磯駅からバス1番または 2番乗場より乗車約7分 「城山公園前」下車徒歩3分</p>
	<p>○庭園 【開園面積】7.0ha（約21,200坪） 【入園料金】無料 【公開時期】年末年始（12/29～1/3）を除く毎日 【施設管理者】神奈川県</p> <p>○邸宅〔大磯郷土資料館本館〕 【建築面積】1,204.78㎡ 【入館料金】無料（企画展は有料の場合があります） 【公開時期】月曜日、毎月1日、年末年始（12/29～1/4）を除く毎日 【施設管理者】大磯町</p> <p>大磯城山公園は、昭和62年（1987）に県立大磯城山公園として開園しました。</p> <p><庭園と邸宅> 明治28年（1895）に、この地に三井家第10代当主三井高棟が別荘を構え、邸宅と庭園が整備されました。 関東大震災後に再建された全国の有名な古社寺の古材を用いて建てられた「城山荘」を始めとして、茶人として高名な織田有楽齋が建てた武家の気風を感じさせる国宝の茶室「如庵」や登窯などが点在していました。 敷地内にある「大磯町郷土資料館本館」の外観は、「城山荘」をモチーフにしており、当時の「城山荘」の姿や広間を飾っていた部材の一部を展示しています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="938 1339 1445 1659">  <p>城山荘本館（三井文書所蔵）</p> </div> <div data-bbox="938 1720 1445 2033">  <p>茶室「城山庵」</p> </div> </div>		



園内に咲くつつじ



展望台より相模湾を望む



園内マップ

計画のテーマでの位置づけ

「湘南邸園文化祭」では、毎年、秋の夜にモミジを彩るライトアップや、町内各所と連携した「うつわの日」を実施しています。

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	めいじきねんおおいそていえん 明治記念大磯邸園	構成庭園の 所在地	大磯町
<p>10</p> <p>構成庭園 の概要</p>	 <p>日本庭園からの旧陸奥宗光別邸</p>	 <p>旧大隈重信別邸 神代の間</p>	
	 <p>旧滄浪閣</p>	 <p>明治記念大磯邸園 JR大磯駅から徒歩約15分 大磯駅より神奈中バス乗車、 「白岩大門」又は「統監道」下 車3分 国道1号「滄浪閣前」交差点 すぐ</p> <p>町役場</p> <p>旧安田善次郎邸 大磯駅</p> <p>明治記念大磯邸園 旧伊藤博文邸(滄浪閣) 旧大隈重信邸 旧陸奥宗光邸</p>	
<p>○庭園 【開園面積】6.2ha 【施設管理者】国土交通省、大磯町</p>	<p>明治記念大磯邸園は、①旧滄浪閣（伊藤博文庭跡、旧李王家別邸）、②旧大隈重信別邸・旧古河別邸、③旧陸奥宗光別邸跡・旧古河別邸、④西園寺公望別邸跡・旧池田成彬邸から構成される建物群と周辺の緑地を含めた区域（約6.2ha）で構成されています。</p> <p>昨年度、「明治150年」関連施策の一環として、明治期の立憲政治の確立等の歴史やその意義を後世に伝えるとともに、湘南の邸園文化の象徴として、文化の発信や、憩いと交流の拠点となる場を創出するため、国と神奈川県、大磯町が連携して整備を行うこととしています。</p> <p>現在、令和2（2020）年度夏頃を目途に、旧大隈重信別邸・旧古河別邸と旧陸奥宗光別邸・旧古河別邸の庭園等の一部区域の公開を目指し、整備を進めているところです。</p>	<p><各邸園について></p> <p>① 旧滄浪閣（伊藤博文庭跡、旧李王家別邸）</p> <p>滄浪閣と呼ばれ、初代内閣総大臣である伊藤博文が明治29年（1896）に建てた別邸を翌年（1897）本邸としたものです。伊藤の没後は李王家（李垠）に譲渡され、李王家別邸として使用されていましたが、大正12年（1923）の関東大震災により倒壊し、その後建て直されました。第二次世界大戦後、民間企業により増改築がなされていますが、今日、李王家別邸の姿が残されています。</p> <p>② 旧大隈重信別邸・旧古河別邸</p> <p>大隈重信が明治30年（1897）に大磯に購入した邸宅で、一部増改築がなされているものの、ほぼ往時の姿を留めています。明治34年（1901）に古河市兵衛（古河財閥創業者）に売却されたことから、その後は古河別邸や民間企業の迎賓施設として維持管理が続けられてきました。</p>	

③ 旧陸奥宗光別邸跡・旧古河別邸

旧陸奥宗光別邸は、明治27年（1894）に自身の病気療養のため大磯に建築したものです。陸奥の没後、次男（潤吉）の養子先である古河家の別邸となりましたが、その後、関東大震災で、一部が大破したため、改築されたと言われており、改築後の古河別邸が現存しています。旧陸奥宗光邸は、旧大隈別邸とともに、古河別邸として使用された後、民間企業の迎賓施設として維持管理が続けられてきました。

④ 西園寺公望別邸跡・旧池田成彬邸

西園寺公望が明治32年（1899）、伊藤博文の紹介で大磯に別邸を所有しました。滄浪閣の隣に位置することから「隣荘」と名づけられたと言われています。また、所在地の大磯が陶綾郡（洵綾郡）であったことから、西園寺の号と同じ「陶庵」と呼ばれたとも言われています。その後、大正6年（1917）に別荘を譲り受けた池田成彬（大蔵大臣経験者）が、建築家中條精一郎に設計を依頼し、昭和7年（1932）に建築した洋館及び車庫が、ほぼ往時のまま残されています。池田の没後は、民間企業の厚生施設として利用されていましたが、昭和50年代以降は利用されていない状態となっています。



邸宅ガイドツアーの様子(明治 150 年記念公開時)



明治記念大磯邸園の邸園群

計画のテーマでの位置づけ

明治期の立憲政治の確立等の歴史やその意義を後世に伝えるとともに、湘南の邸園文化の象徴として、文化の発信や憩いと交流の拠点となることが期待されています。

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	きゅうきのしたけべっせい 旧木下家別邸 おおいそえきまえようかん (大磯駅前 洋館)	構成庭園の 所在地	大磯町大磯 1007 番
11 構成庭園 の概要	<div data-bbox="392 360 1126 846" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1137 360 1445 663" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1137 667 1337 745" data-label="Text"> <p>旧木下家別邸 大磯町大磯1007 JR大磯駅から徒歩1分</p> </div> <div data-bbox="938 763 1110 842" data-label="Caption"> <p>バラ咲き誇る 旧木下家別邸</p> </div> <div data-bbox="405 857 834 1016" data-label="List-Group"> <p>○庭園 【開園面積】 1,200 m² 【入園料金】 無料 【公開時期】 水曜日を除く毎日 【施設管理者】 大磯町</p> </div> <div data-bbox="405 1021 1038 1115" data-label="List-Group"> <p>○邸宅 【建築面積】 142.29 m² 【入館料金】 イタリアンレストランとして活用</p> </div> <div data-bbox="392 1149 1430 1272" data-label="Text"> <p>旧木下家別邸は、大正元年（1912）に竣工した現存する最古のツーバイフォー工法住宅として、平成24年（2012）に国の登録有形文化財に登録された建物です。また、同年9月には景観法に基づく「景観重要建造物」にも指定されました。</p> </div> <div data-bbox="392 1305 592 1339" data-label="Section-Header"> <p><庭園と邸宅></p> </div> <div data-bbox="392 1344 1142 1435" data-label="Text"> <p>建築時の写真では、洋風の庭のアプローチがあり、現在の車が入るアプローチとカーポートは、レストランとして改修した際にできたと想定されます。</p> </div> <div data-bbox="392 1440 1142 1563" data-label="Text"> <p>「明治以降に洋館の庭には薔薇が植えてあった」との記録もあり、管理者に薔薇の庭を再現してもらい、毎年開催している大磯オープンガーデンではメインの薔薇の庭となっています。</p> </div> <div data-bbox="392 1568 1142 1691" data-label="Text"> <p>建物は、切妻造スレート葺、左右の屋根上にドーマー窓を乗せ、外壁は国産赤松を使用した南京下見板張です。各部屋にはベイウィンドウを設け、全体にシンメトリックなデザインです。</p> </div> <div data-bbox="1177 1328 1437 1675" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1169 1693 1430 1727" data-label="Caption"> <p>「建築画報」掲載写真</p> </div>		
計画のテーマでの 位置づけ	<p>現在は、パーティや結婚式など多くの方が集う場所として、また、大磯など湘地域の旬を楽しめるイタリアンレストランとして活用されています。また「湘南邸園文化祭」では、大磯のまち歩きイベントの食事場所としても活用されています。</p>		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	おだわらていえんこうりゅうかんせいかにてい 小田原邸園交流館 清閑亭	構成庭園の 所在地	小田原市南町 1-5-73
12 構成庭園 の概要	 <p style="text-align: center;">邸宅より庭園越しに相模湾を望む</p>  <p>小田原邸園交流館 清閑亭 (旧黒田長成侯爵別邸) 小田原市南町1-5-73 小田原駅から徒歩15分</p>		
	<p>○庭園 【開園面積】 528 m² 【入園料金】 無料 【公開時期】 毎週火曜日、年末年始を除く毎日（ほかに、臨時休館あり） 【施設管理者】 小田原市</p> <p>○邸宅 【建築面積】 342.79 m²</p> <p>清閑亭（旧黒田長成伯爵別邸）は、太閤秀吉の右腕ともいわれた天才軍師・黒田官兵衛から数えて14代目の黒田家当主で、明治時代に活躍した政治家・黒田長政（ながしげ）侯爵の別邸として、明治39年（1906）に建てられました。</p> <p><庭園と邸宅> 庭園は、松を主体とする芝庭ですが、緑一色になりがちな庭園に差し色となって美しい年中赤色に色づいている「ベニシダレ」があります。平成18年（2006）には敷地が国の史跡に指定されました。 侯爵別邸に相応しい書院造りで格式を保ちながらも、別邸らしい近代数寄屋の特徴を随所に見ることができます。平成17年（2005）、建物が国の登録有形文化財に登録されました。</p>  <p style="text-align: center;">庭園と邸宅が一体となる風景</p>		
計画のテーマでの位置づけ	<p>2018年度の「湘南邸園文化祭」では、漢詩を趣味とした黒田侯爵にちなんだ十五夜観月漢詩吟詠会や、別邸暮らしの醍醐味でもある健康をテーマとしたヨガ教室など、庭園の良さを活かしたイベントを実施しました。</p>		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	おだわらぶんがくかん 小田原文学館 ほんかん 本館	構成庭園の 所在地	小田原市南町 2-3-4
13 構成庭園 の概要	 <p>庭園からみる旧田中光顕伯爵別邸</p>  <p>小田原文学館 (旧田中光顕別邸) ・白秋童謡館 小田原市南町2-3-4 P7台 小田原駅東口より徒歩20分 バス停「箱根口」より徒歩5分</p>		
	<p>○庭園 【開園面積】 3,302.94 m² 【入園料金】 無料 【公開時期】 年末年始(12/28~1/3)を除く毎日、臨時休館あり 【施設管理者】 小田原市</p> <p>○邸宅 【建築面積】 124.4 m² 【入館料金】 大人：250円、小・中学生：100円 ※別館と共通</p> <p>小田原文学館は、明治政府で宮内大臣などを務めた伯爵田中光顕が昭和12年(1937)に建てた別荘です。平成12年(2000)に国登録有形文化財となりました。</p> <p><庭園と邸宅> 手入れの行き届いた芝の庭園では四季折々の風情を楽しむことができます。建物は、緩い屋根勾配、小さい軒の出、明るい外壁、小さい開口が特徴であるスパニッシュ様式を採用しています。装飾的なアイアングリル、サンルームや玄関前に用いられたタイルなども、その特徴をよく伝えています。</p>  <p>秋の夕焼け時の邸園</p>		
計画のテーマでの位置づけ	<p>2018年度の「湘南邸園文化祭」では、小田原の詩人たちが中心となって作られた詩雑誌「民衆」が創刊100年を迎えることを記念し、その軌跡を貴重な資料により紹介しました。</p>		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	おだわらぶんがくかん 小田原文学館 べっかん 別館	構成庭園の 所在地	小田原市南町 2-3-4
14 構成庭園 の概要	<div style="display: flex; justify-content: space-between;">   </div> <p style="text-align: center;">庭園からみる小田原文学館別館</p> <p>小田原文学館 (旧田中光顕別邸)・白秋童謡館 小田原市南町2-3-4 P7台 小田原駅東口より徒歩20分 バス停「箱根口」より徒歩5分</p> <p>○庭園 【開園面積】 1,755.86 m² 【入園料金】 無料 【公開時期】 年末年始(12/28～1/3)を除く毎日、臨時休館あり 【施設管理者】 小田原市</p> <p>○邸宅 【建築面積】 167.97 m² 【入館料金】 大人：250円、小・中学生：100円 ※本館と共通</p> <p>小田原文学館別邸（白秋童謡館）は、明治期から昭和戦前期にかけての陸軍軍人、官僚、政治家であった田中光顕の別邸で、現在は小田原文学館・白秋童謡館として活用しています。</p> <p><庭園と邸宅> 和風庭園は、中央の芝生に面して、錦鯉の泳ぐ池と、露地門から続き池を取り囲む露地から構成されており、本館の庭園と同じく赤松を印象的に配置しています。 建物は、木造2階建てで、楼閣風の軽快な意匠が印象的な和風建築です。内部は開放的な数寄屋風の意匠で、近代の別荘建築の好例です。平成12年（2000）に登録された国の登録有形文化財です。</p>		
計画のテーマでの位置づけ	<p>白秋の創作童謡のほか、日本で初めて本格的に翻訳した英国の伝承童謡のコーナーなどの展示を行っており、展示と合わせて建物内部も見学することができます。</p>		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	まつながきねんかん・ろうきょそう 松永記念館・老櫓荘	構成庭園の 所在地	小田原市板橋 941-1
15 構成庭園 の概要	<p>紅葉の松永記念館</p> <p>庭園での野点</p> <p>香林寺 旧大倉喜八郎別邸 松永記念館 旧古稀庵庭園 秋葉山量寛院 板橋内野邸 箱根登山鉄道 郵便局 箱根板橋駅 松永記念館(旧松永安左エ門別邸) 小田原市板橋941-1 箱根登山線「箱根板橋駅」より 徒歩10分</p>		
	<p>○庭園 【開園面積】 4,885.27 m² 【入園料金】 無料 【公開時期】 年末年始(12/28~1/3)を除く毎日、臨時休館あり 【施設管理者】 小田原市</p> <p>○邸宅 【建築面積】 161.98 m²</p> <p>松永記念館は、戦前戦後を通じて「電力王」と呼ばれた実業家で、数寄茶人としても高名であった松永安左エ門（耳庵）が、昭和21年（1946）に小田原へ居住してから収集した古美術品を一般公開するために、昭和34年（1959）に財団法人を創立して自宅の敷地内に建設した建物です。昭和55年（1980）10月に小田原市郷土文化館の分館として開館しました。</p> <p><庭園と邸宅> 庭園は大きな池を取り囲むように設えた樹木や草花が美しく、四季を通じ様々な花を観賞でき、「日本の歴史公園100選」に選出された名園です。 敷地内には、昭和61年（1986）に移築した野崎廣太（幻庵）の茶室「葉雨庵」や、平成13年（2001）から公開している耳庵の居宅「老櫓荘」など、国の登録有形文化財となっている貴重な建物の一般公開を行っています。</p>		
計画のテーマでの位置づけ	<p>現在は耳庵ゆかりの資料・美術品等を展示するほか、企画展などを開催し、「湘南邸園文化祭」では毎年、茶湯の愛好家や市民グループがよる茶会を開催しています。</p>		

実施する事業と実施体制

(1) これまでの取組

○「湘南邸園文化祭」の実施

邸園等を利活用した様々な文化的催しを湘南地域一帯で同時期に開催しています。

開催時期：毎年9月～12月頃

開催場所：三浦市、横須賀市、葉山町、逗子市、鎌倉市、横浜市戸塚区、藤沢市、茅ヶ崎市、平塚市、大磯町、二宮町、小田原市、真鶴町、湯河原町、箱根町の邸園等

開催実績：	催し数	参加者数	主催団体数	開催市町村
第1回(2006年)	29	8,772	11	6
第2回(2007年)	32	11,662	14	8
第3回(2008年)	32	24,461	18	5
第4回(2009年)	38	26,823	21	5
第5回(2010年)	42	24,062	23	6
第6回(2011年)	52	5,803	24	8
第7回(2012年)	58	15,531	26	10
第8回(2013年)	64	22,524	26	10
第9回(2014年)	63	17,316	27	11
第10回(2015年)	60	19,267	31	14
第11回(2016年)	65	14,856	32	14
第12回(2017年)	61	12,921	30	14
第13回(2018年)	65	36,735	34	14
第14回(2019年)	61	-	31	14

- ・各地の催しを紹介するガイドブックの発行・配布
- ・ホームページの作成 (<http://shonan-teien-festival.org/>)
- ・邸園等を紹介するマップの発行
- ・文化祭を紹介する動画を県の動画配信サイトで配信
- ・共通のロゴマークを用いた旗を一部の邸園に設置
- ・文化祭の開催時期に合わせて、キックオフイベントを実施



湘南邸園文化祭ホームページ



「湘南邸園マップ」の作成

○「明治150年」特別企画の実施

昨年2018年は、明治元年から起算して満150年の年に当たることから「明治150年」関連施策の一環として、特別企画も実施しました。

<特別企画>

- ・日露戦争と葉山（湘南）ツアー
- ・小田原、大磯、茅ヶ崎を「明治時代コスプレ」で巡る「明治ドレスアップバスツアー」
- ・旧東伏見宮別邸でシンポジウム「地域の原風景を生かしたまちづくりへ」



シンポジウム「地域の原風景を生かしたまちづくりへ」



明治ドレスアップバスツアー



日露戦争と葉山（湘南）ツアー

(参考)

○ 旧吉田茂邸の再建事業（神奈川県と大磯町による事業）

旧吉田茂邸は、吉田茂の没後民間企業に売却され利用されていましたが、平成16年頃より地元を中心に保存の機運が高まり、神奈川県や大磯町によって保全・活用が検討されていました。

しかし、計画検討中の平成21年3月に本邸が火災により焼失してしまいましたが、消失を免れた日本庭園や歴史的資源の保存・活用を図るため、県立大磯城山公園の拡大区域として県が公園整備を行い、旧吉田茂邸は大磯町が町有施設として再建することになりました。

再建に際し、全国から約2億9千万円もの寄附金が集まり、平成26年から平成28年にかけて再建工事が実施され、平成29年4月にオープンしました。オープン後の同年5月末には、年間来場者数の目標3万人を約2か月で達成しました。



旧吉田茂邸(再建後)



吉田茂像

(2) 今後の取組

○ 「湘南邸園文化祭」の一層の充実と発展を目指す（別紙具体的な事業一覧参照）

- ・ 『湘南邸園文化祭』の開催
- ・ 明治記念大磯邸園整備事業との連携
- ・ 地域を跨いだ連携の推進
- ・ 認知度の拡大（共通旗の全施設設置や年間を通じた広報の実施など）
- ・ ヘリテージマネージャー等との連携
- ・ 外国人観光客の誘致

(3) 協議会の構成員

■会 長：内藤英治（特定非営利活動法人小田原まちづくり応援団）

■副会長：森浩章（茅ヶ崎の文化景観を育む会）

■会 計：菅孝能（邸園文化調査団）

■監 査：宮田英夫（善行雑学大学）

■顧 問：杉本洋文（東海大学工学部建築学科教授）

■事務局：邸園文化調査団

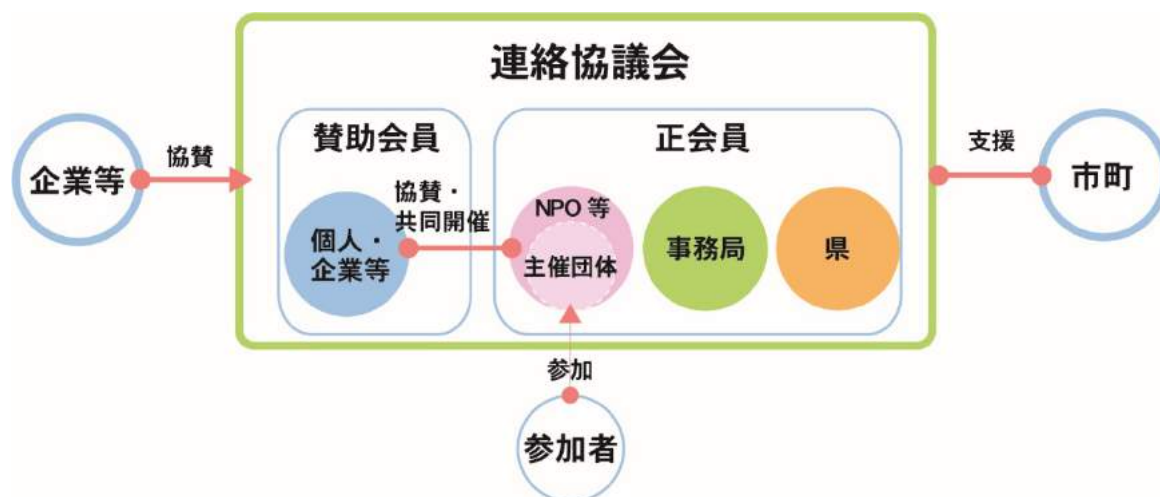
■正会員：（43団体 順不同・敬称略）

三崎の町再発見ウォークラリー実行委員会/ 株式会社三浦海業公社/ 横須賀建築探偵団/ 特定非営利活動法人葉山環境文化デザイン集団/ エコツーリズム葉山/ コンサート・パル・葉山/ 一般財団法人宮城道雄記念館/ 山口蓬春記念館/ 葉山東伏見宮別邸サロン/ 葉山新聞社/ 琴アカデミ

一/ 特定非営利活動法人逗子の文化をつなぎ広め深める会/ 鎌倉邸園文化クリエイション/ 株式会社銀の鈴社/ 鎌倉の別荘地時代研究会/ 御成小「講堂」の保全活用をめざす会/ 図書館とともにだち・鎌倉/ 特定非営利活動法人旧モーガン邸を守る会/ 善行雑学大学/ 蔵まえギャラリー/ 藤沢今昔まちなかアート実行委員会/ 鶴沼の緑と景観を守る会/ 湘南藤沢文化ネットワーク/ 盛岩寺昭和文化館/ 茅ヶ崎の文化景観を育む会/ 八幡山の洋館/ 公益財団法人神奈川県公園協会・湘南造園株式会社グループ/ 公益社団法人大磯町観光協会/ 大磯まちづくり会議/ まちづくり工房「しお風」/ 特定非営利活動法人小田原まちづくり応援団/ 小田原邸園文化ネットワーク/ 真鶴まちなれ実行委員会/ 湯河原温泉・粋な温泉めぐりの会/ 公益財団法人神奈川県公園協会・小田急ランドフローラグループ/ 特定非営利活動法人神奈川まちづかい塾/ 湘南邸宅文化ネットワーク協議会/ 公益財団法人横浜市緑の協会/ 神奈川県登録有形文化財建造物所有者の会/ 白菴茶室研究会/ 国営昭和記念公園事務所/ 邸園文化調査団/ 神奈川県

※別添資料に会則等有り。

(4) 事業の実施体制



<各主体の役割分担>

①各地のNPO等（主催団体・正会員）

- ・催しの企画、準備
- ・「湘南邸園文化祭連絡協議会」への参加
- ・催しについての問合せや予約受付に関する対応
- ・催しの運営
- ・運営内容の記録、アンケート調査及び結果の入力の実施等
- ・事後の課題の検討等への参画
- ・企業スポンサー（賛助会員）獲得に関する活動

② 14 市町（共催者・協力者等）

- ・湘南邸園文化祭連絡協議会へのオブザーバー参加
- ・各市町における催しの広報
- ・主催団体に対する邸園等に関する情報提供
- ・邸園所有者や施設管理者と主催団体との借用交渉への協力
- ・市町所有の邸園等の会場提供
- ・その他独自の支援

③湘南邸園文化祭連絡協議会（事務局・正会員）

- ・運営資金の確保（助成金申請 等）
- ・各地のNPO等による企画運営提案書・予算計画書の確認
- ・湘南邸園文化祭全体の広報（プロモーション部会による活動/ プレスリリース/ インターネット掲載）
- ・湘南邸園文化祭全体についての問合せ対応
- ・会合での議題の資料作成
- ・課題の検討や効果の検証

④県（正会員）

- ・「湘南邸園文化祭連絡協議会」への参加
- ・湘南邸園文化祭全体の広報
- ・県所有邸園の借用交渉への協力

⑤企業等

- ・湘南邸園文化祭開催におけるスポンサー
- ・催しの主催団体との共同開催

（５）具体的な事業

次項に示す通りです。

具体的な事業一覧表

事業名①	『湘南邸園文化祭』の開催		
実施主体	湘南邸園文化祭連絡協議会	事業期間	2006 年度 ～ まで
実施施設	全ての構成邸園ほか		
事業概要	<p>各地のNPO等による邸園等の保全活用の取組を、「湘南邸園文化」という一筋の糸で紡ぎ、邸園等を利活用した様々な文化的催しを湘南地域一帯で同時期に開催しています。</p> <p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・邸園の有効利活用イベントによる邸園文化の魅力の発信と滞在型交流の推進 ・湘南地域一帯の様々な邸園が連携して一つのイベントを実行することによる邸園文化の発信力の向上 ・邸園の活用を担う事業者やアーティスト等の発掘と連携体制の構築 ・イベント実施を通じた邸園活用の課題の抽出 <p>(主な広報)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブック・チラシ(ポスター)の配布・配架・掲示 ・webによる情報発信 ・ニュースソースとなるようキックオフイベントの開催 など <div data-bbox="316 1003 592 1384"> </div> <div data-bbox="596 1003 1145 1384"> </div> <div data-bbox="1150 1003 1426 1384"> </div> <p>『湘南邸園文化祭 2019』ガイドブック・チラシ</p> <div data-bbox="320 1451 1145 2067"> </div> <p>キックオフイベント (2018年度)</p>		

(2019年度 イベント実施一覧 9月13日~12月15日)

9月	10月	11月
13 金 旧安田善次郎邸の十五夜観月会★ ▲旧安田善次郎邸[大磯]	5 土 山口蓬春記念館秋の呈茶会(6日まで)★ ▲山口蓬春記念館[葉山]	2 土 盛岩寺昭和文芸館 お茶を楽しむ!★ ▲盛岩寺昭和文芸館[藤沢]
14 土 旧安田善次郎邸の十六夜観月会★ ▲旧安田善次郎邸[大磯]	虚子俳句と歩く寿福寺①★ ▲御成門・寿福寺など[鎌倉]	3 日 しおさい公園 琴のしらべ★ ▲葉山しおさい公園[葉山]
15 日 旧モーガン邸で楽しむ藍染体験★ ▲旧モーガン邸庭園[藤沢]	おとなの遠足・第33回★ ▲カトリック片瀬教会・龍口寺など[藤沢]	山口蓬春記念館 邸園ツアー①★ ▲山口蓬春記念館[葉山]
16 月 旧村上邸・鎌倉みらいラボ~見学会★ ▲旧村上邸[鎌倉]	正井尊展―揺らす景色―(20日まで) ▲清閑亭[小田原]	小津安二郎監督『東京の合唱』★ ▲茅ヶ崎館[茅ヶ崎]
18 水 日本ポランド現代美術展「見る神話」(30日まで) ▲清閑亭・皆春荘[小田原]	鎌倉の歴史と浪漫を現代に伝える、未来へつなぐ(18日まで) ▲県立恩賜箱根公園[箱根]	第19回 松永記念館茶会★ ▲松永記念館[小田原]
22 日 八幡山の洋館・セブテンパーコンサート ▲八幡山の洋館[平塚]	6 日 バヴロバ・バレエスクール メモリー★ ▲由比ガ浜公会堂[鎌倉]	4 月 北原白秋 童謡のさんば道★ ▲白秋さんば道など[小田原]
23 月 一日そば屋開店 手打ち新そばを楽しむ★ ▲盛岩寺昭和文芸館[藤沢]	清閑亭の邸園朝ヨガ教室★ ▲清閑亭[小田原]	7 木 時代を彩った古民家を継承する★ ▲正力松太郎邸[逗子]
29 日 残していこう伝統構法―瓦屋根のお話★ ▲旧尾日向邸[藤沢]	10 木 小田原の数寄屋棟梁とめぐる、建物散歩★ ▲清閑亭、小田原城など[小田原]	8 金 盛岩寺昭和文芸館 豊跡風入れ展(10日まで) ▲盛岩寺昭和文芸館[藤沢]
	11 金 大磯の明治邸園を訪ねる★ ▲明治記念大磯邸園など[大磯]	9 土 大規模木造旅館で内田祥哉先生の講演会★ ▲福住楼[箱根]
	12 土 虚子俳句と歩く寿福寺②★ ▲御成門・寿福寺など[鎌倉]	10 日 冊子刊行記念~我が邸園の課題と展望を語る★ ▲由比ガ浜公会堂[鎌倉]
	13 日 旧井上匡四郎邸で過ごす葉山の午後★ ▲真砂邸(サロングャラリー明風)[葉山]	小田原ゆかりの陸海軍レッキングツアー★ ▲清閑亭・皆春荘など[小田原]
	14 月 おとなの遠足・第34回★ ▲藤沢今昔・まちなかアートめぐり2019[藤沢]	湯河原温泉・絆な温泉文化めぐり2019★ ▲藤田屋・伊藤屋・上野屋など[湯河原]
	"小田原文化レポーター"がご案内"おだわら語り道" ▲いろいろ博物館など[小田原]	14 木 大磯の明治邸園を訪ねる★ ▲明治記念大磯邸園など[大磯]
	19 土 横須賀の茅葺民家 万代会館"文化財"になる★ ▲万代会館・川尻町内会館[横須賀]	15 金 大磯の明治邸園を訪ねる★ ▲明治記念大磯邸園など[大磯]
	逗子の別荘邸園を散策し、近代逗子の歴史をたどる★ ▲旧藤瀬・脇村邸など[逗子]	16 土 鶴沼の「まちの記憶」を求めて★ ▲鶴沼松が岡・鶴沼海岸周辺[藤沢]
	盛岩寺昭和文芸館 お茶を楽しむ!★ ▲盛岩寺昭和文芸館[藤沢]	17 日 モーガン邸を春水 講談で聴く★ ▲藤沢市労働会館ホール[藤沢]
	グリーンハウス物語 25話★ ▲エリスマン邸など[横浜・中]	漢詩と吟詠と二胡の共演★ ▲清閑亭[小田原]
	24 木 大磯城山公園うつわの日(11/3まで) ▲県立大磯城山公園[大磯]	20 水 「真砂秀明・絵と音楽」展(24日まで) ▲サロングャラリー明風[葉山]
	26 土 八幡山の洋館 百武由紀ヴィオラ・コンサート★ ▲八幡山の洋館[平塚]	22 金 もみじのライトアップ(24日まで) ▲県立大磯城山公園[大磯]
	和文化・室礼展2019(11/10まで) ▲清閑亭[小田原]	23 土 熊本城復旧支援チャリティコンサート★ ▲八幡山の洋館[平塚]
	邸園めぐりと「小田原花街」グルメツアー★ ▲料亭だるま・清閑亭など[小田原]	湘南の残したい資産、湘南みかんのある暮らし★ ▲東大二宮果樹園跡地など[二宮]
	箱根の大規模木造文化財財見学会★ ▲福住楼、元湯環翠楼[箱根]	24 日 旧鎌倉邸・片瀬と腰越の歴史文化を訪ねる★ ▲カトリック片瀬教会など[藤沢]
	27 日 三崎の町再発見ウォークラリー★ ▲チャッキラコ・三崎昭和館[三浦]	侯野別邸庭園「庭園散歩」★ ▲侯野別邸[横浜・戸塚]
	古民家でかいまみる日本映画の女性像★ ▲T宅[逗子]	もみじの名所・小田原邸園めぐり①★ ▲松永記念館・清閑亭など[小田原]
	八幡山の洋館 秋のばらフェスタ★ ▲八幡山の洋館[平塚]	28 木 旧山本条太郎別荘特別公開(12/1まで) ▲山本条太郎別荘[鎌倉]
	28 月 古民家でかいまみる日本映画の女性像★ ▲T宅[葉山]	30 土 文化財で競技かるた会★ ▲茅ヶ崎館[茅ヶ崎]
12月		
1 日 もみじの名所・小田原邸園めぐり②★ ▲松永記念館・清閑亭など[小田原]		
7 土 山口蓬春記念館邸園ツアー②★ ▲山口蓬春記念館[葉山]		
歴史的建造物と地域産木材を考える★ ▲大磯町立図書館[大磯]		
地域の残したい資産、生活文化や季節を感じる風景★ ▲旧山川邸など[二宮]		
登録有形文化財の制度と建物をもっと知ろう★ ▲清閑亭[小田原]		
8 日 モーガン邸で楽しむクリスマスリース作り★ ▲旧モーガン庭園[藤沢]		
12 木 大磯の明治邸園を訪ねる★ ▲明治記念大磯邸園など[大磯]		
山縣有朋公ゆかりの建物で手打ちそば★ ▲暁亭・暁庵[箱根]		
13 金 大磯の明治邸園を訪ねる★ ▲明治記念大磯邸園など[大磯]		
侯野別邸 夜間特別開館・ハープコンサート★ ▲侯野別邸[横浜・戸塚]		
14 土 湘南邸宅文化交流会★		
15 日 ▲藤沢商工会館ミナパーク[藤沢]		

(イベント実施例：大磯の明治邸園を訪ねる)

日 程：2019年10月11日、11月14・15日、12月12・13日

集合時間：〈Aコース〉9:15、〈Bコース〉10:45

参加費：4,500円

定 員：80名（各コース40名）

主 催：公益社団法人大磯町観光協会

特別協力：国土交通省国営昭和記念公園事務所、神奈川県、大磯町

主な行程：

○大磯迎賓館でのランチの場合（10/11・11/14・12/12の3日）

大磯駅前集合



旧安田善次郎邸の散策



大磯迎賓館でのランチ



明治記念大磯邸園

（旧大隈重信邸・旧陸奥宗光邸）



大磯駅前解散



○大磯プリンスホテルでのランチの場合（11/15・12/13の2日）

大磯駅前集合



明治記念大磯邸園

（旧大隈重信邸・旧陸奥宗光邸）



大磯プリンスホテルでのランチ



旧安田善次郎邸の散策



大磯駅前解散



具体的な事業一覧表

事業名②	地域を跨いだ連携の推進			
実施主体	湘南邸園文化祭連絡協議会	事業期間	2020 年度 ~	まで
実施施設	主要な構成邸園など			
事業概要	<p>(目的) 各地域の複数の邸園が連携し、横につながった催しを開催することで、ツーリズムとして「湘南邸園文化祭」のより一層の充実と発展を目指す</p> <p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の地域に跨る催しの検討 バスツアーによる邸園巡りや邸園スタンプラリーなどの企画実施 ・周遊可能なモデルコースをHPで紹介する (明治時代の建築を巡るツアーや茶人ゆかりの邸園を巡るツアーなどを計画予定) ・各地域の邸園を巡るきっかけづくり 邸園カードの作成 合わせて、各邸園を紹介することで『湘南の邸園文化』の魅力を広く発信する <div data-bbox="657 846 1018 1102" data-label="Image"> </div> <p>邸園カード作成イメージ(参考:歴まちカード)</p>			

事業名③	認知度の拡大			
実施主体	湘南邸園文化祭連絡協議会	事業期間	2019 年度 ~	まで
実施施設	全ての構成邸園ほか			
事業概要	<p>(目的) 『湘南の邸園文化』の魅力を広く発信することで、「湘南邸園文化祭」のより一層の充実と発展を目指す</p> <p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『湘南邸園文化祭』の共通旗の全施設設置 一部施設で設置している共通旗を全施設へ拡張する ・年間を通じた広報の実施 各庭園のイベントをFacebookでお知らせする 月間イベントを文化祭のホームページで紹介する ・国のホームページ等での広報により認知度の向上を図る ・全国の自治体や団体との連携を強化する <div data-bbox="1077 1451 1433 1908" data-label="Image"> </div> <p>共通フラッグ</p>			

具体的な事業一覧表

事業名④	ヘリテージマネージャー等との連携			
実施主体	湘南邸園文化祭連絡協議会	事業期間	2020 年度 ~	まで
実施施設	主要な構成邸園など			
事業概要	<p>(目的) ヘリテージマネージャーと連携することで、より奥深い『湘南の邸園文化』の魅力を知ることができ、「湘南邸園文化祭」のより一層の充実と発展につながる</p> <p>(事業概要) <ul style="list-style-type: none"> ・ かながわヘリテージマネージャーと連携した催しの開催 ヘリテージマネージャーによる建物ガイドツアーの実施 さまざまなアート企画にヘリテージマネージャーによる地域の歴史文化や邸園解説を織り交ぜた充実した企画の実施 ・ アーティストや利活用を担う団体等との広域的な連携 </p> <p>(参考) ○「邸園保全活用推進員」の養成（神奈川県と神奈川県建築士会による事業） 神奈川県と神奈川県建築士会では、平成 21 年度から平成 27 年度にかけて、邸園の所有者等に保全活用のためのアドバイスを行える専門家を養成する目的で「邸園保全活用推進員」の養成講座を実施し、7 年間で 201 名の推進員を養成しました。 </p>			
				

事業名⑤	外国人観光客の誘致		
実施主体	湘南邸園文化祭連絡協議会	事業期間	2020 年度 ~ まで
実施施設	全ての構成庭園ほか		
事業概要	<p>(目的) 邸園等の存在とその歴史的価値を国外へも広く発信し、その魅力を再認識してもらう</p> <p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページや看板等の多言語化を検討 既存の英語表記等のより一層の充実を図る <p>既に取り組んでいるガイドブック裏表紙の英語表記や一部企画の英語併記などを拡充する</p> <div data-bbox="336 680 596 1039" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="619 680 1401 1039" data-label="Image"> </div> <p>ガイドブック裏表紙の英語表記</p> <p>催しの日本語と英語の併記表示の一例</p>		